



授業のための備え

学校という組織は、学校教育目標という共通目的の達成のためにあります。そのために、各学級でも学校教育目標を意識した学級目標を立てて、子供たちのために計画的・継続的に教育活動を行っています。学校教育目標を具現化していくための大切な時間があります。それは、毎月の予定の中に必ず入れてある「校内研修」です。この校内研修とは、文字通り、学校でおこなう先生たちの研修つまり「お勉強会」です。教職員は、法律により「絶えず研究と修養に努めなければならない。」とされています。日頃の授業についてどう取り組むか、子供たちの意欲を引き出す問いかけはどうすればよいのか、学級経営のコツなど、教師としての基礎・基本を学び、日頃の授業や指導に生かせる内容の校内研修にしています。今日は、学級活動のグッズづくりを行いました。帯西では、学校教育目標の達成のために、道徳科と特別活動を研究の中心としています。特別活動の中核である、学級活動には学級会があり、子供たちが話し合っ合意形成していく貴重な学びの時間です。その話し合いを補助するためのグッズ(学級会の司会者用のボード、賛成・反対の札等)を先生たちと準備し、これからの子供たちの学級会に備えました。作りながらこれは、こう使うと子供たちが折り合いをつけやすくなるとか、合意形成するためにはここが大事だよ等、様々なアイデアも聞かれました。このように私たちは、校内で学び合ったり、個人的に研修したり、出張という形で校外に出て研修したりと絶えず学んでいます。



また私たちは、授業を充実させるために、教科やその内容について研究をします。この研究のことを教材研究とも呼びます。今日は、教材研究の時間となり、このような取り組みを積み重ねていくことで、授業力を向上させたり、教師としての資質を高めたりすることになります。これからも校内研修の時間を大切にしていきます。

名前呼び合うゾウ

最近話題になっていたのが、野生のアフリカゾウです。なんとアフリカゾウは、個別の名前のようなものを使って仲間と互いに呼び合っているということです。これは、アメリカの研究グループが発表しました。研究グループは、1986年～2022年、ケニアの国立公園でアフリカゾウの群れで収録された469件の鳴き声を調べたそうです。人工知能(AI)を使って細かく調べたところ、どのゾウに向けられた鳴き声かを特定できたケースもあったそうです。さらにゾウにその音を聞かせると、それぞれ自分に合った呼びかけに強く反応していたそうです。ゾウも名前呼び合うということがわかって、私たち人間も互いに呼び合うときは、敬意を込めなければならないと思いました。

